

件名：在ルーマニア大使館からの注意喚起（テロ情勢）

これまでにあまりテロ事件が発生していなかった国においても、テロに対する注意が必要です。また、各地で予定されるイベント等がテロの標的となる可能性も懸念されます。

海外に渡航・滞在される方は、以下を参照し、テロ事件等不測の事態に巻き込まれることのないよう、最新の関連情報の入手に努めてください。

ルーマニアにお住まいの皆様及び旅行者の皆様へ
在ルーマニア日本国大使館

日本外務省は、以下の海外安全情報（欧州でのテロ等に対する注意喚起）を再々更新しましたのでお知らせします。

http://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcwideareaspecificinfo_2017C174.html

欧州でのテロ等に対する注意喚起（再々更新）

【ポイント】

- 欧州では本年に入ってからでもテロが続発しており、更なるテロの発生が懸念されます。
- 夏にかけて観光地・リゾート地を訪れる多くの観光客が見込まれる中、スポーツ大会、音楽フェスティバル、独立記念日を祝う行事などのイベントが多数行われています。観光客やイベント等を狙ったテロや、イベント警備のため手薄となった他の都市でのテロに注意してください。
- 最新情報の入手に努め、テロの標的となりやすい場所を訪れる際には、安全確保に十分注意を払ってください。情報収集には「たびレジ」を活用してください。

【本文】

1 欧州では、本年に入ってからでもテロ事件が相次いで発生しており、特にイスラム教のラマダン期間（5月下旬～6月下旬）頃にはテロ事件が続発しました。ラマダン期間は終わりましたが、8月17日（現地時間）にはスペイン・バルセロナ中心部の観光地で多くの人が犠牲となる車両突入テロ事件が発生しており、引き続き更なるテロの発生が懸念されます。

(※) 欧州において最近発生したテロ

- 英国：マンチェスターでのコンサート会場の群衆を標的とした自爆事件（5月22日）
- 英国：ロンドンでの車両・刃物により通行人等を襲撃した事件（6月3日）
- フランス：パリでのハンマーで警察官を襲撃した事件（6月6日）
- 英国：ロンドンでの車両でモスク前に集まっていた人に突入した事件（6月19日）
- フランス：パリでの車両で国家憲兵隊の車両に突入した事件（6月19日）
- ベルギー：ブリュッセルの駅構内での爆発事件（6月20日）
- フランス：パリ郊外での車両により兵士を襲撃した事件（8月9日）
- スペイン：バルセロナでの車両により通行人等を襲撃した事件（8月17日）

2 欧州では夏季期間中に観光地やリゾート地を多くの観光客が訪れることが見込まれる中、スポーツ大会、音楽フェスティバル、独立記念日を祝う行事などのイベントが各地で開催されています。これら観光客やイベント等を標的とするテロに警戒する必要があることに加え、イベント等の警備のため手薄となった他の都市でのテロの実行も懸念さ

れます。

3 以下の対策をお願いします。

- (1) 最新の関連情報の入手に努める。
- (2) 以下の場所がテロの標的となりやすいことを十分認識する。
観光施設、観光地周辺の道路、記念日・祝祭日等のイベント会場、レストラン、ホテル、ショッピングモール、スーパーマーケット、ナイトクラブ、映画館等人が多く集まる施設、教会・モスク等宗教関係施設、公共交通機関、政府関連施設（特に軍、警察、治安関係施設）等。
- (3) 上記（2）の場所を訪れる際には、周囲の状況に注意を払い、不審な人物や状況を察知したら速やかにその場を離れる、できるだけ滞在時間を短くする等の注意に加え、その場の状況に応じた安全確保に十分注意を払う。
- (4) 現地当局の指示があればそれに従う。特にテロに遭遇してしまった場合には、警察官等の指示をよく聞き冷静に行動するように努める。

【車両突入の場合】

- ガードレールや街灯などの遮へい物がない歩道などでは危険が増す。

【コンサート会場、スポーツの競技場等の閉鎖空間】

- 会場には時間より早めに入る、終了後はある程度時間を置いてから退出するなど、人混みを避けるよう努める。
- セキュリティの確保されていない会場の外側や出入口付近は危険であり、こうした場所での人だまりや行列は避けるようにする。
- 不測の事態の発生を念頭に、会場の出入口や非常口、避難の際の経路等についてあらかじめ入念に確認する。
- パニック状態となった群衆の中で負傷するおそれもあり、周囲がパニック状態になっても冷静さを保つように努める。

【爆弾、銃器を用いたテロに遭遇した場合】

- 頑丈なものの陰に隠れる。
- 周囲を確認し、可能であれば、銃撃音等から離れるよう、速やかに、低い姿勢を保ちつつ安全なところに退避する。閉鎖空間の場合、出入口に殺到すると将棋倒しなどの二次的な被害に遭うこともあり、注意が必要。

4 在留届の提出または、「たびレジ」への登録を必ず実施してください。

3ヶ月以上海外に滞在する方は在留届の提出を、3ヶ月未満の場合は「たびレジ」への登録を必ず実施してください。（「たびレジ」の登録：<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/>）渡航先の最新安全情報や、緊急時の大使館又は総領事館からの連絡を受け取ることができます。また、家族や友人、職場等に日程や渡航先での連絡先を伝えておくようにしてください。

5 外務省のテロ対策パンフレットも併せてお読みください。

- (1) パンフレット「海外へ進出する日本人・企業のための爆弾テロ対策Q&A」
- (2) パンフレット「海外旅行のテロ・誘拐対策」
(パンフレットは、<http://www.anzen.mofa.go.jp/pamph/pamph.html> に掲載。)

(注) 今年のラマダン期間以前の主なテロ事件等（以下、すべて現地時間）

【2017年】

- スウェーデン：ストックホルム市内におけるトラック突入テロ事件（4月7日）

- ロシア：サンクトペテルブルク市内地下鉄での爆発事件（4月3日）
- 英国：ロンドン市内のウェストミンスター橋及び国会議事堂でのテロ事件（3月22日）
- フランス：パリ・オルリー空港での武器奪取事件（3月18日）
- フランス：ルーブル美術館での襲撃事件（2月3日）

【2016年】

- ドイツ：ベルリンのクリスマス・マーケットへの車両突入事件（12月19日）
- ドイツ：アンスバッハの野外音楽祭での爆弾テロ事件（7月24日）
- ドイツ：ヴェルツブルク近郊の近距離列車における乗客襲撃テロ事件（7月18日）
- フランス：ニースでの花火の見物客に対するトラック突入によるテロ事件（7月14日）
- ベルギー：ブリュッセルの地下鉄、空港での銃撃・自爆テロ事件（3月22日）

【2015年】

- フランス：パリでの国立競技場、レストラン、コンサートホールを狙った同時多発テロ事件（11月13日）

(問い合わせ先)

- 外務省領事サービスセンター

住所：東京都千代田区霞が関 2-2-1

電話：(代表) 03-3580-3311 (内線) 2902, 2903

(外務省内関係課室連絡先)

- 領事局邦人テロ対策室 (テロ・誘拐関連) (内線) 3047
- 領事局海外邦人安全課 (テロ・誘拐関連を除く) (内線) 5140
- 海外安全ホームページ：

<http://www.anzen.mofa.go.jp/> (PC版)

<http://www.anzen.mofa.go.jp/sp/index.html> (スマートフォン版)

<http://m.anzen.mofa.go.jp/mbtop.asp> (モバイル版)

- 在ルーマニア日本国大使館

住所：America House East Wing, 8th Floor,

Sos. Nicolae Titulescu Nr. 4-8

Sector 1, Bucharest, Romania

電話：+40-21-319-1890

FAX：+40-21-319-1895

ホームページ：http://www.ro.emb-japan.go.jp/index_j.htm

「たびレジ」簡易登録をされた方でメールの配信を停止したい方は、以下の URL から停止手続きをお願いいたします。

URL：<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/simple/delete>